

## 平成30年度 第1回千曲市地域公共交通網形成計画策定分科会 会議概要

期 日：平成30年4月17日（火） 午後1時30分～午後4時00分

場 所：千曲市役所更埴庁舎 集団指導室

出席者：委員出席 12名（1名欠席）、事務局3名

### 会議事項

#### （1）千曲市地域公共交通網形成計画の策定について

千曲市が網形成計画を策定する背景や目的、策定体制、スケジュール、分科会の進め方について事務局より説明。

<委員からの意見・質問と事務局または会長からの回答>

（新井委員）

策定分科会の第2回目で公共交通の現状把握となっていますが、どのような方法を考えているのか。特にタクシーについて教えてください。

（事務局）

市で把握している数字をお出しできればと考えていまして、あとは、事業者さんのほうで実際に体感されている現状、例えば、運転手不足の問題等、そういった話をしていただければと思っております。タクシーについては、示しづらい数字もあるかと思いますが、利用者数など可能な限り出していただければと思いますので、また相談させていただければと思います。

（新井委員）

私だけでは千曲市のタクシー会社全ての数字は分かりませんので、各事業者に前もって問い合わせておかないとなかなか難しいと思います。もしくは、長野県タクシー協会が各事業者の輸送実績を出すかどうか、というところもありますが、各事業者に了承をとっておかないと難しい数字だと思いますので、そのような手配をお願いしたいです。

（事務局）

はい、ありがとうございます。

（新井委員）

先程の事務局の説明の中で、出したい数字というのがすべて公共交通事業者となっているかと思えます。実は、公共交通の他に移送を行っているところがあるかと思えます。例えば、福祉や観光、そういったところもこの網形成計画に入れ込むという第1回目の協議会での話がありましたし、必要な数字になってくるかと思えますので、できるだけ把握していただきたいです。

（事務局）

福祉や観光のほうで持っている数字があるかと思えますので、そこについては、庁内ワーキンググループで数字の調査をしたいと考えています。

（柳澤会長）

事業者の皆さんにどれだけ数字を出していただけるか、事前に手配できるかが非常に重要なことですし、鉄道・路線バスという枠ではなくて、どういった方を対象にするのかという視点が必要になってきますので、できる限り事務局で数字を集めていただければと思います。第2回目の分科会時に数字が十分でない場合は、随時追加しながら、基本方針や具体的な施策に生かしていければと思います。

（洞委員の代理 齊藤委員）

市役所の新庁舎と体育館の完成が一つのキーになってくるかと思えますが、いつ完成しますか。

（事務局）

新庁舎は今年度中に完成しまして、来年の5月に開庁になります。体育館は今年度中に使用可能になります。

（洞委員の代理 齊藤委員）

当社としましては、そこを一つのポイントとして今の交通のあり方を大きく変えていってほしいな

という思いがありまして、大きくなりすぎた木を切って、利用しやすい路線形態にしてほしいので、その時期がかなりキーとなってくるんですが、この分科会の進め方で間に合うのかが気になりました。

(事務局)

大きな幹の部分については決まってくると思うんですが、細かな枝の部分については盛り込めない部分もあるかと思いますが、これは進んでいかないと分からない部分ではあります。

(洞委員の代理 齊藤委員)

路線を改革するのに大きなポイントとなってきますので、なんとかして路線の改革をまちづくりと連携して、進めていってほしいなと思います。

(柳澤会長)

いきなり細かい部分までとはいかないとは思いますが、幹線となるところについては、起終点調査などを実施して、新庁舎の利用者を踏まえたうえで、おおまかな方針を決めて、その後、網計画の実施計画がありますので、そこでより具体的に入っていきのかなと思います。新庁舎については当然のことながら考慮していかないといけない点ですので、実施計画の中でも早めに路線の組み換えをやっていく可能性が高いと思っております。

(洞委員の代理 齊藤委員)

乗務員が不足している中で、乗務員の拘束時間や就業数等を少なくしていきたいという思いがありまして、当社に新庁舎の建設が鍵になると説明してきましたので、何とか実行に移していきたいなと思います。

(柳澤会長)

運転手不足問題等は網形成計画の中でも十分に考慮していかなければならない部分ですので、分科会で意見を出していただき、より実行性の高い路線やサービスを組めればなと思っております。

(久保委員)

毎年の時刻改正の時に、運転手にも意見を聞いて要望しているが、あまり変化がない中で、新庁舎が完成したら大きく変わると説明しているので、労働時間や拘束時間は考えてほしいです。また、前々から、バスが同じような時刻に重なってしまうことがあるので、そこを改善できたらなと思います。

(山崎委員)

木で例えるなら、大きな幹と枝があって、大きな幹については大きなバスで、枝はタクシーでなど、その辺をすみわけできたら利用者にとって利用しやすい公共交通になると思います。

(事務局)

住民の意見を聞きますと、もっと充実してくれという要望がある中で、運行のバランスや収支の関係と調整するのは難しいなと体感しております。計画を策定するにあたって、しっかりと皆さんから意見を頂きながら決めていきたいと思っております。

(新井委員)

他のタクシー業も分科会に入れていただきたいと思っております。

(柳澤会長)

できればたくさんの方に入っていいただければありがたいことなんですが、意見を集約していかないといけない中では、人数を絞らせていただいたという経緯があります。

(新井委員)

地域とともに公共交通を支えていかないといけないという思いがあるんですが、人口減少などの様々な外的要因もありますが、そういった中で個別輸送の末端であるタクシーがこれからも24時間365日を継続していくのであれば、我々も努力しますし、地域の方のお力添えが必要になってくるかと思っております。その辺も留意しながら計画を進めていってほしいと思っております。

それと、白ナンバーと緑ナンバーが混在しているインフラ問題についても、網形成計画でやっていくのか、実施していくのか教えてください。

(事務局)

網形成計画の中ではあくまでネットワークの部分になりますので、その辺についてはまた別の計画

で議論していくのかなと思います。

(井藤委員)

過去の事例を見ますと交付決定が遅れたこともありましたが、お金のかからないできるところから取り組んでいただければと思います。

(事務局)

千曲市の中山間地域について、自分たちでアンケート調査を行っています。

(柳澤会長)

中山間地域とは逆の幹線や幹線と思われる場所ですと、そう簡単にはいなくて、こういった場合の予算付けや、先行してやっついていかないと間に合わない部分もあろうかと思いますが、そのあたりの方法等、事務局へアドバイスをお願いしたいと思います。

(井藤委員)

運輸局としましても、よく連携・連絡取っていききたいと思いますので、引き続きよろしくお願ひします。

(玉井委員)

利用促進・利便性の向上を検討されていくとは思いますが、例えば、ICT活用や福祉や観光と連携していくクロスセクター効果など、今の時点で具体的に考えていることがあるのか教えていただければと思います。

(事務局)

今の時点では具体的に考えてはいませんが、アンケートや聞き取り調査などを集約して、バスロケーションシステムやICカード等検討していく流れになれば検討していきたいと思います。

(玉井委員)

様々な分野を連携させていく中で、事業者の負担になってしまっはいけないと思うんですが、ICTの活用や貨客混載、生産性向上のための取組も考えていく必要があるのかなと思います。

(柳澤会長)

分科会の第7回あたりで議論していく内容かなと思いますので、県内で実行性が上がっているような取組があれば紹介していただければと思います。

(玉井委員)

「信州ナビ」では、乗換案内や観光案内、イベント情報等を載せていて、面的に様々な分野を連携させて情報発信する一つのツールになるかと思いますが、活用していただければと思います。

(柳澤会長)

特にバスで考えますと、時間どおりに来るのかという信頼性の部分は非常に重要になってきますので、千曲市に積極的にアプリを活用していただきたいなと思います。

(北島委員)

網形成計画では、エリアは特定できる、各拠点を繋ぐネットワークを構築する、というのは伝わりますが、ターゲットは誰にするのか。思い浮かぶのが高校生などの通学や自分で運転できない高齢者が病院に行くとき、というふうにターゲットが絞られてくるとなると、意外と動かす場所も絞られてくるし、空っぽのバスが走るということもなくなるということから、ターゲットを絞ってもいいのではないかと思います。しかし、ターゲットを絞ると市内全域の網形成ができていないのではないかと悩まされるのかなと思います。

(柳澤会長)

ターゲットを絞るのは非常に重要なことです。誰にでも使っていただくということはなかなか難しいので、どなたが使われるのかということ調査で明らかにしながら、一番よく使われる方に合ったサービスにしていきたいと思います。

(高村委員)

バス停で考えると安心安全で待っていただけるかといわれるとそうではないという状況にありまして、

観光客に対してのおもてなしができていないというふうに感じます。

また、新庁舎は職員駐車場の確保が問題であると聞いていますが、まず、公務員の方が公共交通を利用し、利用率が上がっていくと、それが普及されていくのかなと思いますので、公務員の方の利用率についても教えていただければと思います。

(柳澤会長)

バス停で待っていて安心安全かについては、利用環境整備に当たってくると思います。特に拠点となるところについては、それなりの利用環境整備を整えていかないといけないと思っております。ただ、与える公共交通ではなくて、利用者が積極的に使って残していくということをやっていかないといけませんので、利用者の考え方、移動の考え方等を考え直していただいて、社会にとっていかに公共交通が大切なのか、ただの移動手段ではなくてそこに乗り換えることによって色々な環境がよくなってくることもありますので、そういった意味でも行動変容していくということも重要と考えていますので、分科会の中で議論していきたいと思っております。

## (2) 千曲市の将来像について

千曲市の総合計画について、総合政策課政策推進係より、千曲市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について、都市計画課計画係より、中心市街市活性化基本計画について、産業振興課産業振興係兼企業立地推進係兼産業支援センターより説明。